

# 2021年度（2022年3月期） 第1四半期業績概況

---

2021年8月10日

**H.U.グループホールディングス株式会社**

（証券コード：4544）

※ 本資料では、記載している部分およびEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 「親会社株主に帰属する四半期純損益」を「四半期純損益」と省略する場合があります。

※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

※ 2021年度第1四半期より報告セグメントを変更しております。本資料は過去実績も遡及し、変更後のセグメントの報告区分に基づき作成しております。

※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2020年度1Q : 1USD = 107.62 JPY 1EURO = 118.45 JPY

2021年度1Q : 1USD = 109.49 JPY 1EURO = 131.96 JPY

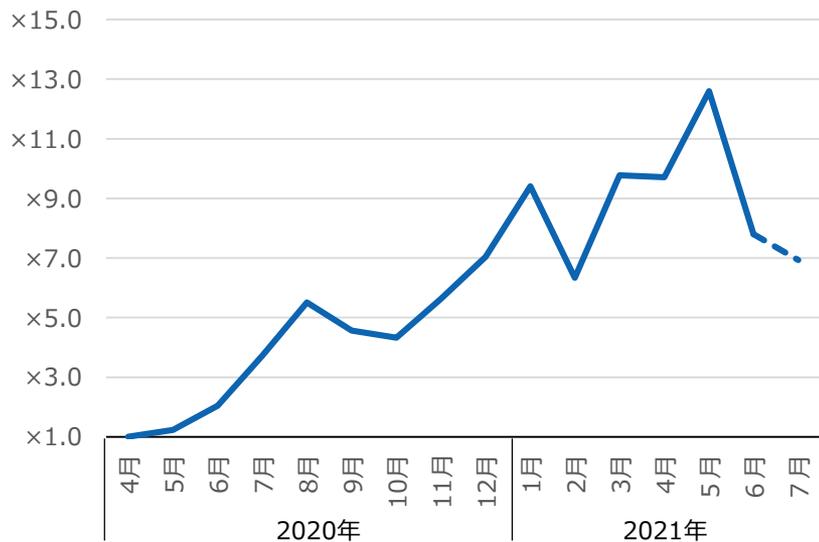
# 2021年度第1四半期のトピックス

---

# 新型コロナウイルスPCRおよび特殊検査受託状況のトレンド

## PCR検査受託状況 (新型コロナウイルス関連)

2020年4月の受託総数を1とした場合の増加率<sup>※1</sup>

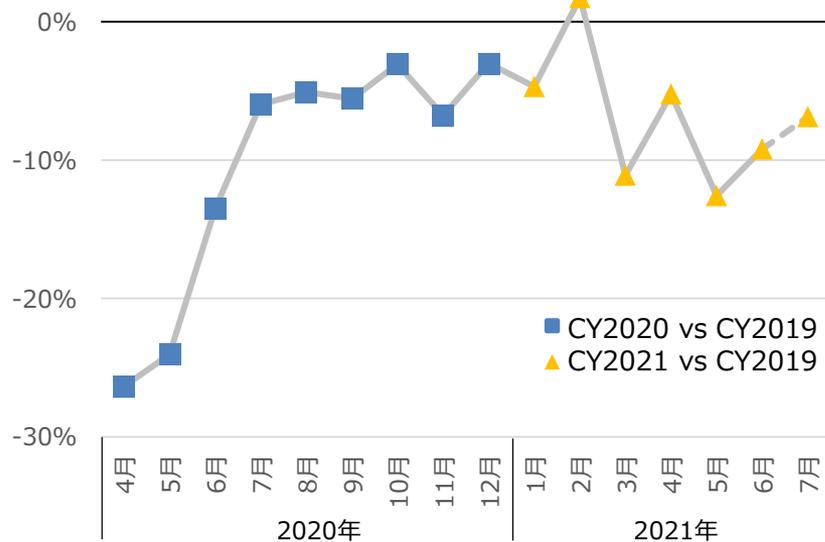


- 感染者の数と連動して検査受託数は増減

※1 SRL、日本臨床の全国での受託

## 特殊検査の受託状況 (新型コロナウイルス関連検査を除く)

特殊検査ID数<sup>※2</sup>のCY2019年同月比

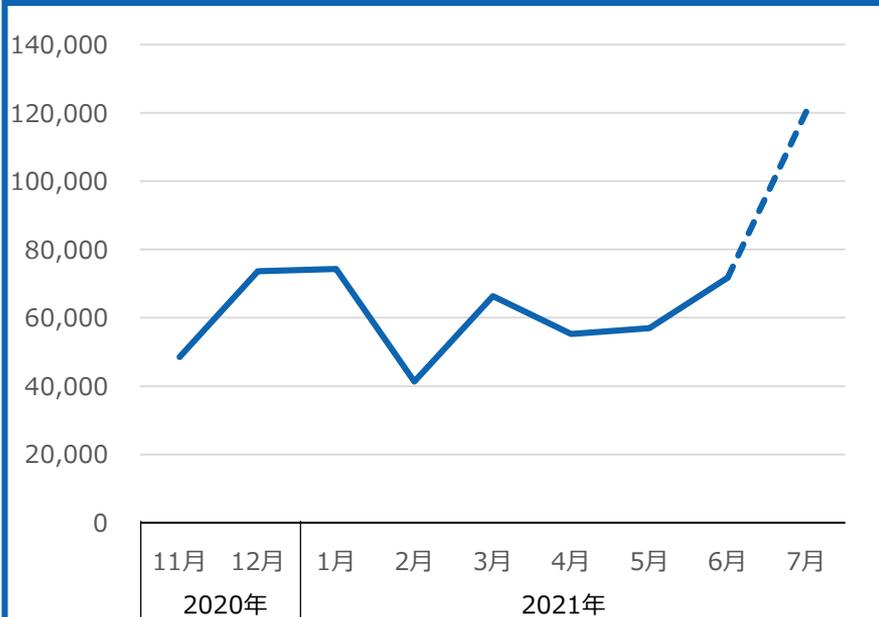


- 新型コロナウイルス影響が顕在化する前のレベルを下回る水準で推移

※2 八王子ラボ受付分、稼働日調整後

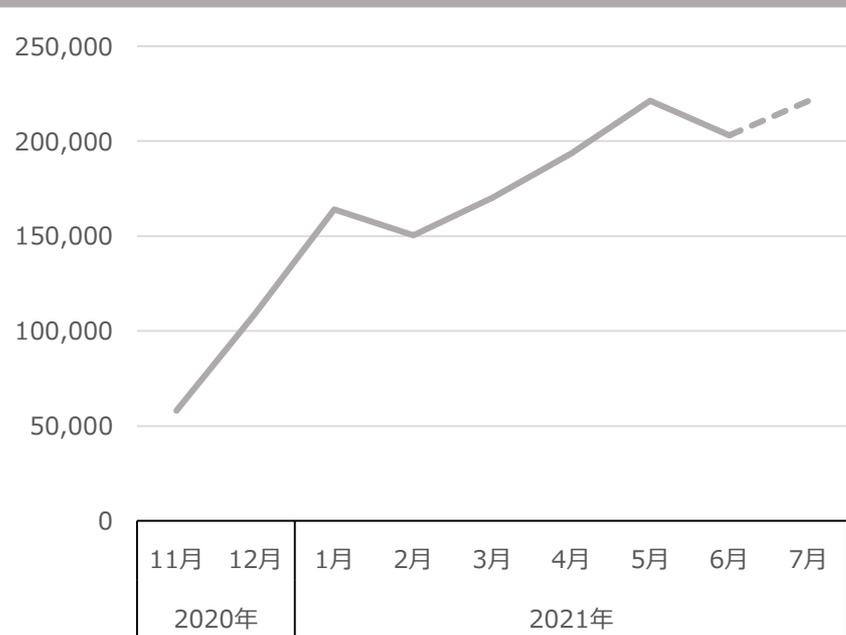
# 新型コロナウイルス高感度抗原定量検査実施数のトレンド

## 空港検疫所での月次抗原定量検査実施数<sup>※</sup>



- 1Qは平均約2,000件/日で推移
- 7月に入り件数が増加

## 医療機関における月次での高感度抗原定量検査実施数<sup>※</sup>



- 需要は拡大傾向

# 業績予想の修正

(億円)

	期初計画			修正計画		
	上期	下期	通期 (利益率)	上期	下期	通期 (利益率)
売上高	1,210	1,210	<b>2,420</b>	1,280	1,210	<b>2,490</b>
EBITDA	235	170	<b>405 (16.7%)</b>	280	170	<b>450 (18.1%)</b>
営業利益	170	85	<b>255 (10.5%)</b>	215	85	<b>300 (12.0%)</b>
経常利益	185	70	<b>255 (10.5%)</b>	210	70	<b>280 (11.2%)</b>
当期純利益	125	40	<b>165 (6.8%)</b>	135	40	<b>175 (7.0%)</b>
ROE			<b>13.8%</b>			<b>14.6%</b>
ROIC			<b>7.8%</b>			<b>9.2%</b>

## 【修正の主な理由】

- 新型コロナウイルスPCR検査数および高感度抗原定量検査の需要が想定を上回って推移
- 大規模イベントに関する検査需要の増加を見込む

# 全国ラボ再編（新関西ラボについて）

AkirunoCube、SRL Advanced Lab. FMA※とともに3拠点体制の一角をなす  
新関西ラボ建設の概要を決定

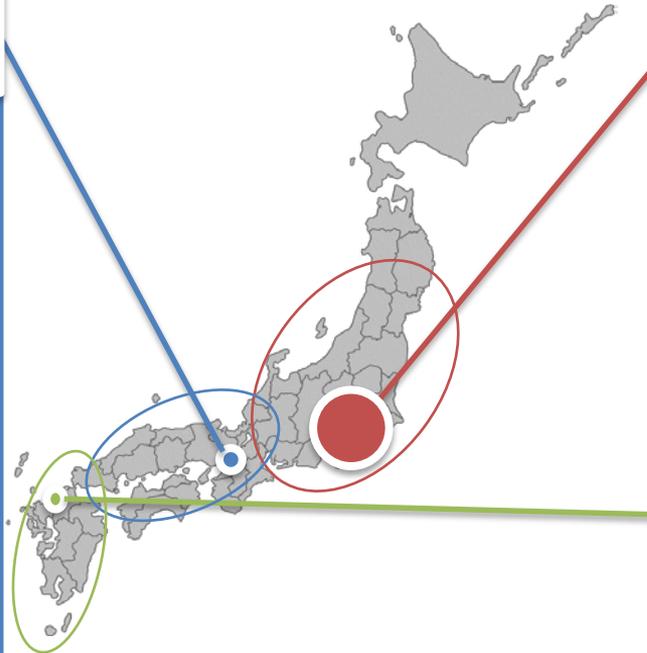
## 新関西ラボ 2023年度下期稼働予定

### 【目的】

- 既存施設の老朽化・キャパシティ不足への対応
- 関西・中部・中四国エリアにおける開業医顧客獲得および既存ラボ統廃合によるコストの最適化

### 【概要】

- 京都府
- 敷地面積：約36,000m<sup>2</sup>
- 延床面積：約18,500m<sup>2</sup>
- 受託能力：最大10.7万ID/日



**AkirunoCube**  
2022年1月第1期稼働  
2022年5月全面稼働



**SRL Advanced Lab. FMA**  
2021年3月全面稼働

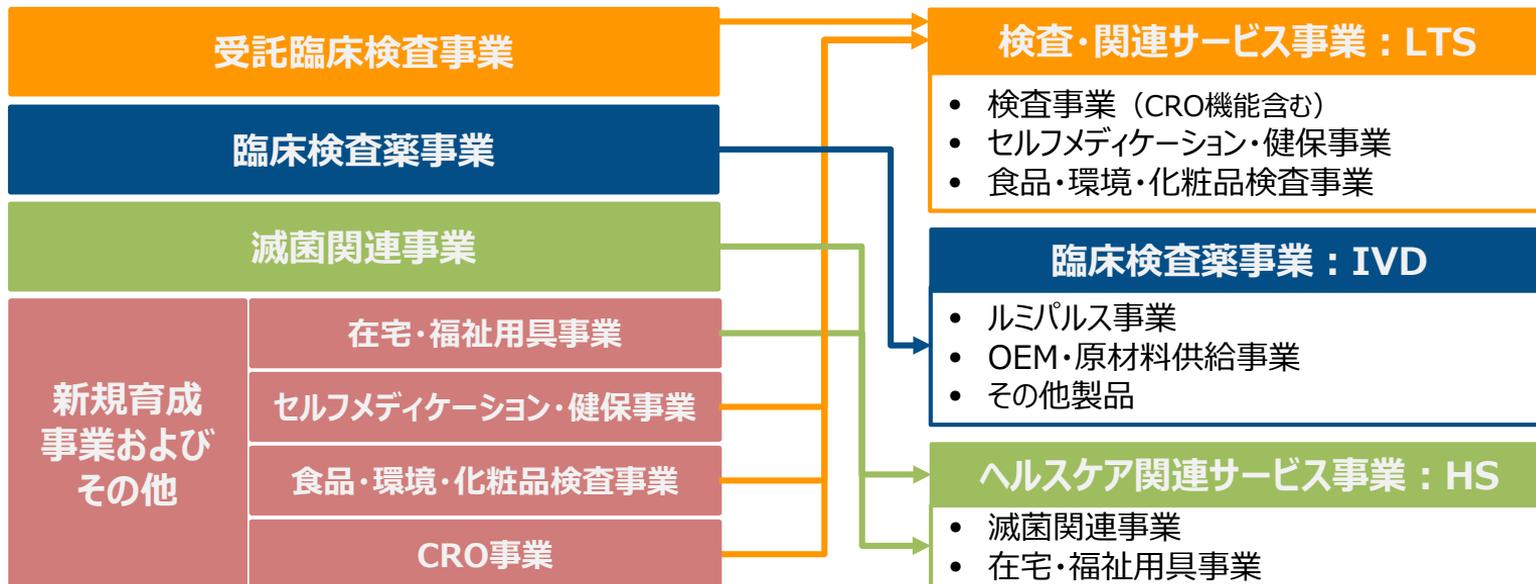


※ Fukuoka city Medical Association

# セグメントの変更

旧セグメント

新セグメント



## 各事業の担当執行役を明確化

- LTS : 東 俊一
- IVD : 石川 剛生
- HS : 北村 直樹

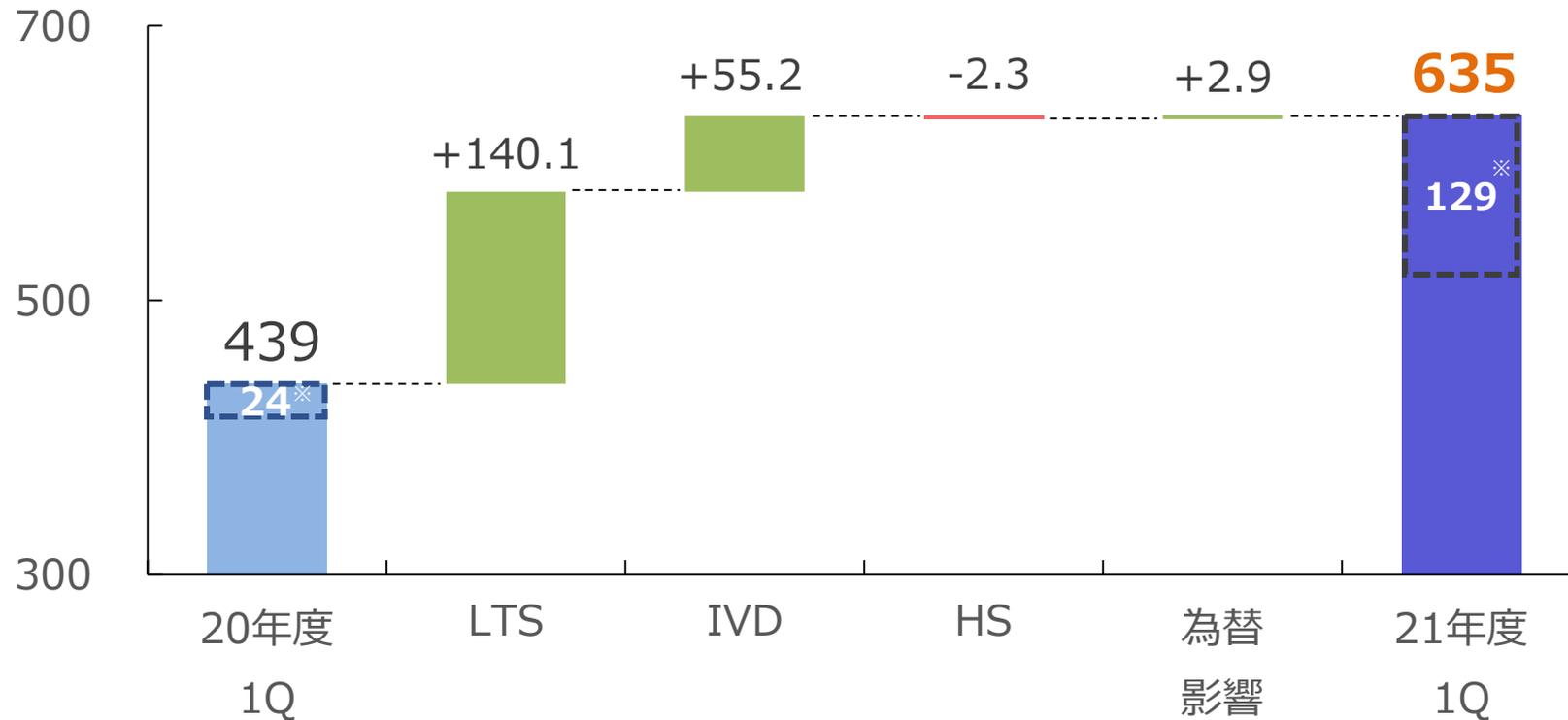
2021年中に各セグメントの事業説明会  
**IR Day (仮称)** を開催予定

# 2021年度第1四半期業績概況

---

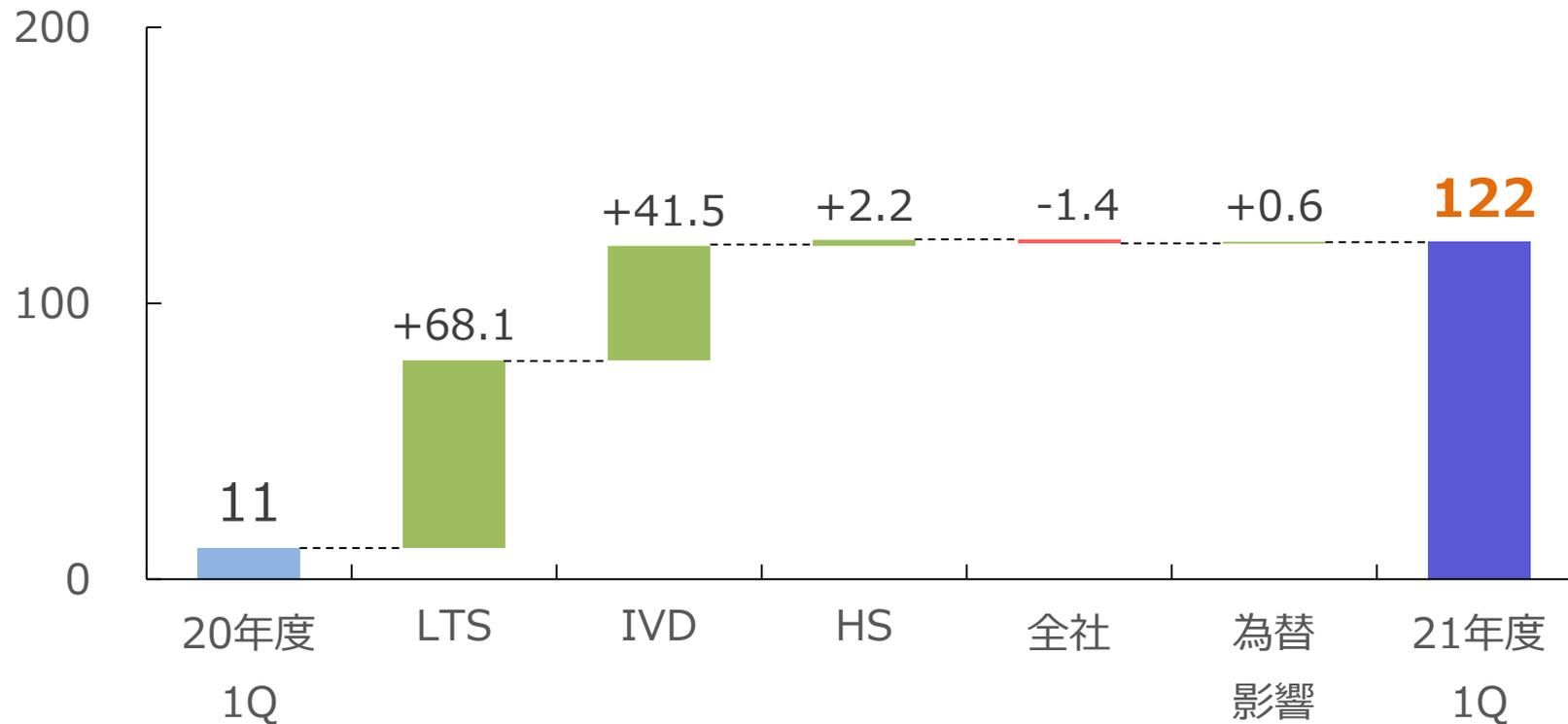
# 連結売上高 対前年同期比較

(億円)

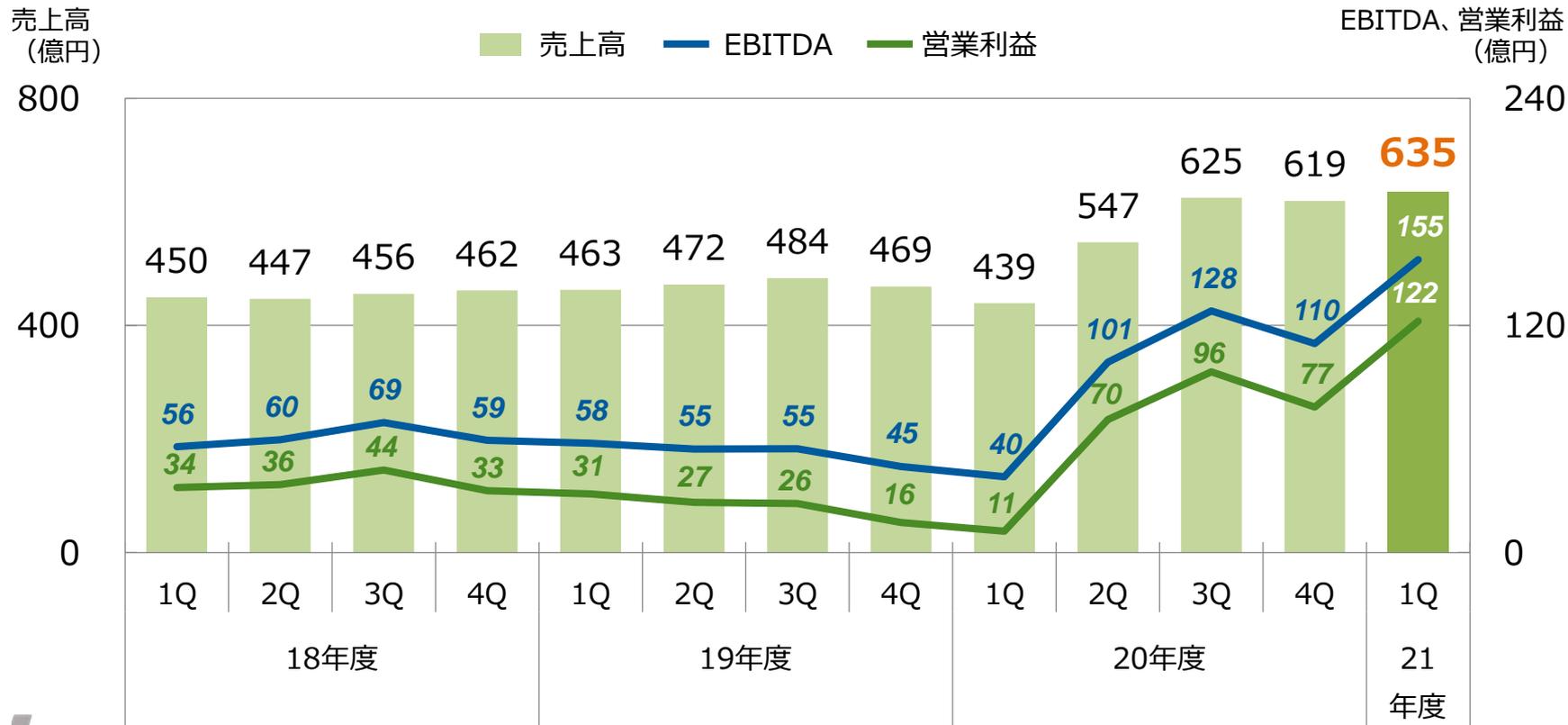


# 連結營業利益 対前年同期比較

(億円)

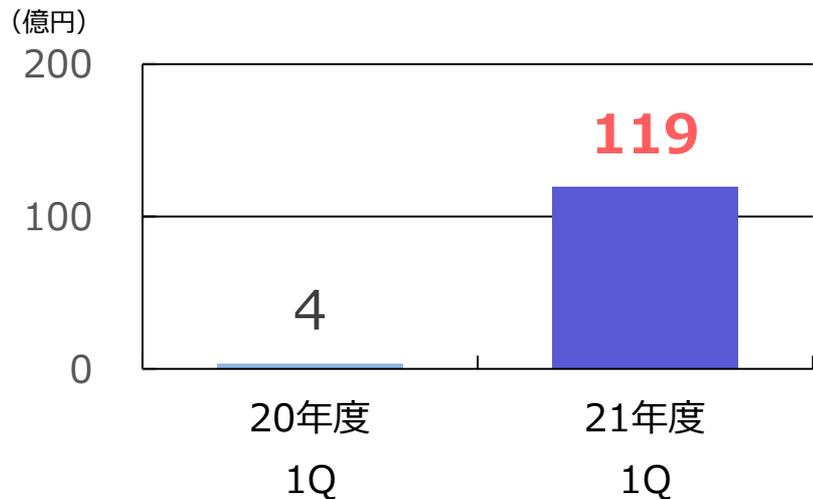


# 四半期毎の業績推移



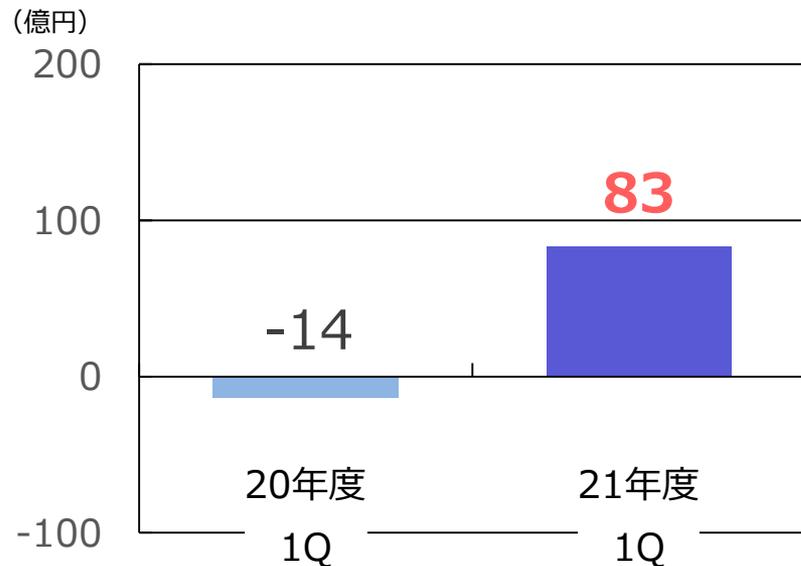
# 連結経常利益および四半期純損益

## 経常利益



- ベンチャー投資ファンド運用益 +5.2億円
- 持分法による投資損失 ▲7.0億円
  - ✓ BMGL ▲3.1億円
  - ✓ 平安保険グループとのJV ▲3.9億円

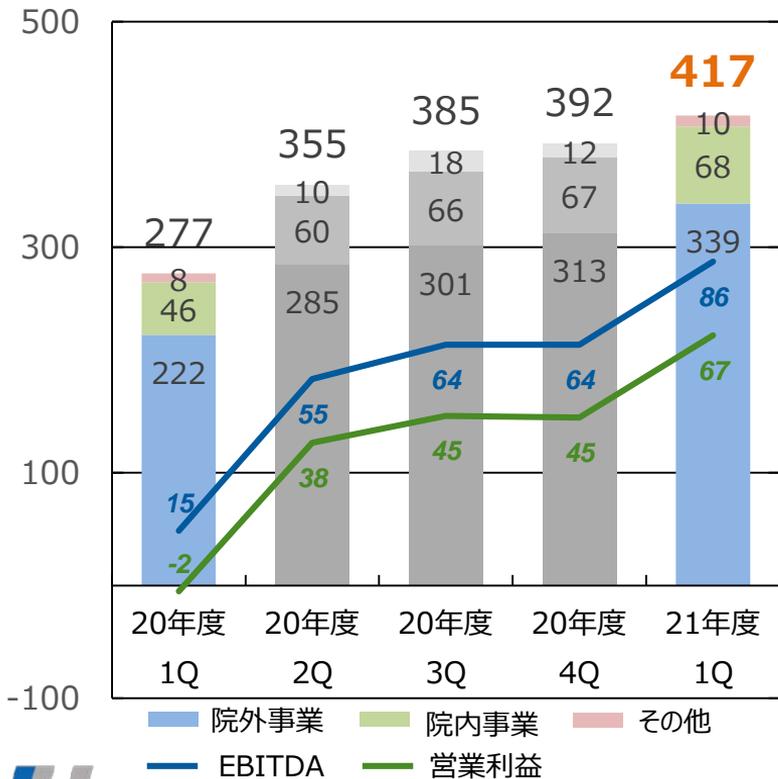
## 四半期純損益



# LTS事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)



EBITDA  
営業利益  
(億円)

150

90

30

-30

## 対前年同期比

(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	277	417	+140.1	+50.6%
院外事業	222	339	+116.4	+52.3%
院内事業	46	68	+21.8	+47.0%
その他	8	10	+1.9	+24.0%
EBITDA	15	86	+71.6	+491.1%
営業利益	-2	67	+68.1	-

### 売上高

- PCR検査を中心とした新型コロナウイルス関連検査の増加
- 遺伝子関連検査の増加
- 空港検疫所における高感度抗原定量検査を含む包括的検査サポート
- 前年度減少した検査数の回復

### 営業利益

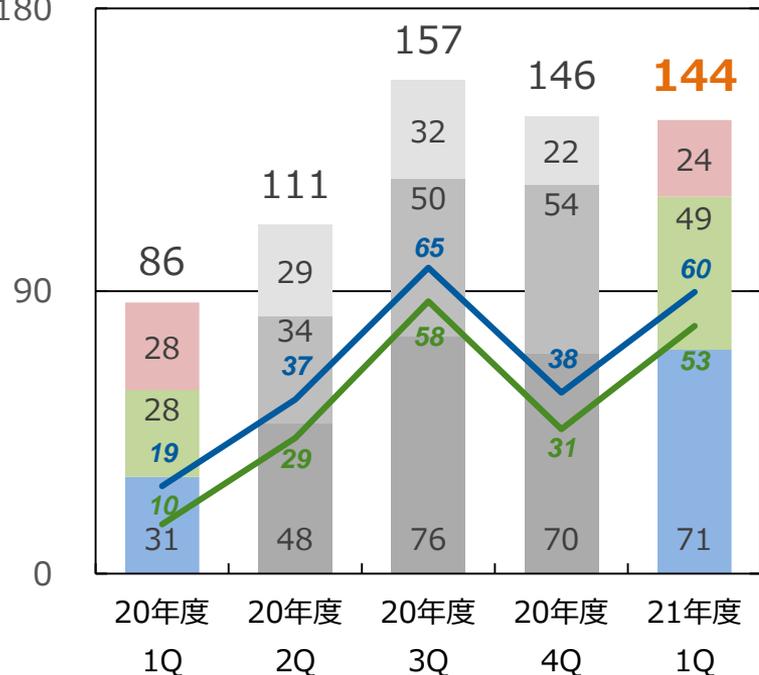
- 新型コロナウイルスPCR検査および空港検疫所における包括的検査サポートによる増収に伴う増益
- 検査数の回復による増収に伴う増益

# IVD事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)

180



EBITDA  
営業利益  
(億円)

120

60

0

2020年度 1Q 2020年度 2Q 2020年度 3Q 2020年度 4Q 2021年度 1Q

ルミパルス事業 OEM・原材料供給事業 その他製品 EBITDA 営業利益

## 対前年同期比

(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	86	144	+58.1	+67.3%
ルミパルス	31	71	+40.5	+131.2%
国内	27	60	+32.8	+121.8%
海外	4	12	+7.7	+195.8%
OEM・原材料	28	49	+21.1	+76.5%
その他	28	24	-3.5	-12.4%
EBITDA	19	60	+41.2	+222.0%
営業利益	10	53	+42.1	+402.3%

ルミパルス 内販売上高	6	17 <sup>※</sup>	+10.6	+171.4%
-------------	---	-----------------	-------	---------

※ 新型コロナウイルス関連検査試薬を中心とした売上高の増加

### 売上高

- 新型コロナウイルス関連による増収 (ルミパルスSARS-CoV-2 Ag)
- 前年度減少した検査需要回復に伴う増収

### 営業利益

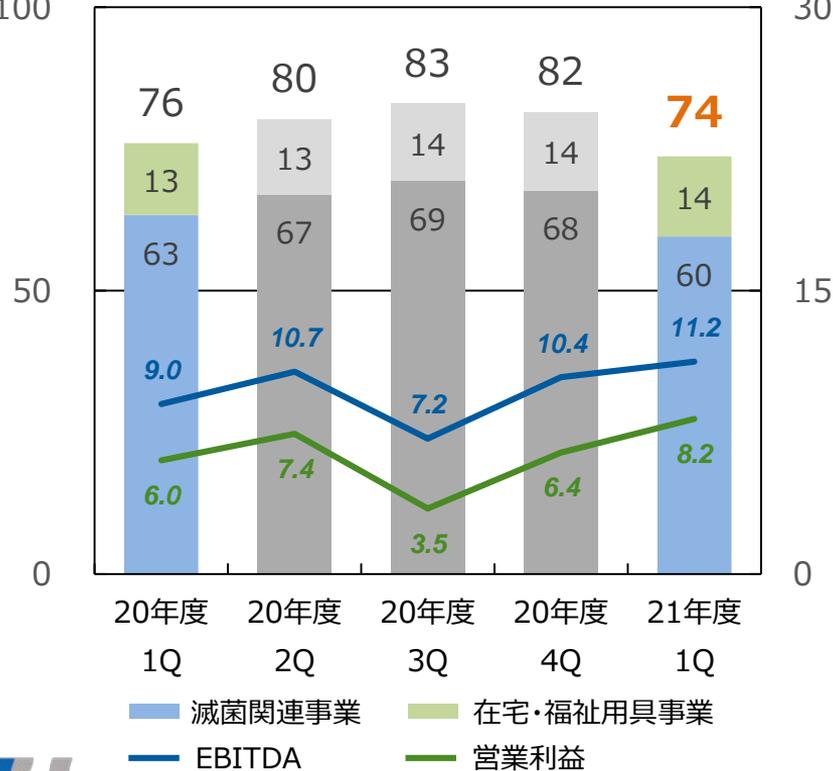
- 増収および内販拡大による増益

# HS事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)

100



EBITDA  
営業利益  
(億円)

30

15

0

## 対前年同期比

(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	76	74	-2.3	-3.1%
滅菌関連	63	60	-3.8	-6.0%
在宅・福祉用具	13	14	+1.5	+11.6%
EBITDA	9.0	11.2	+2.2	+25.0%
営業利益	6.0	8.2	+2.2	+36.5%

### 売上高

- 医材預託品販売における収益認識に関する会計基準適用の影響 (-10億円)
- 前年度延期されていた検診再開に伴う院外滅菌の伸長
- 在宅・福祉用具事業の伸長

### 営業利益

- 院外滅菌の伸長に伴う増益

# 連結業績（対前年同期比）

（億円）

	20年度 1Q		21年度 1Q		対前年同期比 増減	
<b>売上高</b>	<b>439</b>		<b>635</b>		<b>+195.9</b>	<b>+44.6%</b>
LTS	277		417		+140.1	+50.6%
IVD	86		144		+58.1	+67.3%
HS	76		74		-2.3	-3.1%
<b>営業利益<sup>※1</sup></b>	<b>11</b>	<b>2.6%</b>	<b>122</b>	<b>19.3%</b>	<b>+111.0</b>	<b>+987.5%</b>
LTS	-2	-0.6%	67	16.0%	+68.1	-
IVD	10	12.1%	53	36.4%	+42.1	+402.3%
HS	6	7.9%	8	11.1%	+2.2	+36.5%
<b>経常利益</b>	<b>4</b>	<b>0.8%</b>	<b>119</b>	<b>18.8%</b>	<b>+115.6</b>	<b>-</b>
親会社株主に帰属する 四半期純損益	<b>-14</b>	<b>-3.2%</b>	<b>83</b>	<b>13.1%</b>	<b>+97.3</b>	<b>-</b>
<b>EBITDA<sup>※2</sup></b>	<b>40</b>	<b>9.1%</b>	<b>155</b>	<b>24.4%</b>	<b>+114.6</b>	<b>+285.7%</b>

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（20年度1Q：▲3.7億円、21年度1Q：▲5.0億円）

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

## 【連絡先】

# H.U.グループホールディングス株式会社

IR/SR部 TEL : 03-5909-3337

### 将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。